

2025 年 10 月 28 日

研究部門執行役員 橋本研志が、「第 1 回メルクニューモダリティサミット 2025」に登壇しました。

株式会社 ONODERA GT Pharma（以下「当社」）は、メルク株式会社（ライフサイエンス プロセスソリューションズ事業本部）が主催する「第 1 回メルクニューモダリティサミット 2025」（2025 年 10 月 17 日（金）開催）に登壇したことをお知らせします。

当社研究部門管掌執行役員 兼 研究部長の橋本研志が、「第 1 回メルクニューモダリティサミット 2025」にて「Sf-RVN® 昆虫細胞株を用いた AAV 製造」をテーマに講演を行いました。本講演では、遺伝子治療製品の開発において重要な AAV（アデノ随伴ウイルス）製造プロセスに関する最新技術と研究成果を紹介しました。ニューモダリティサミット 2025 では、CMC 開発における規制の最新動向や、AAV 製造に関する専門的課題について、活発な情報交換と議論が展開されました。



ONODERA GT Pharma は今後も、遺伝子治療の未来を切り拓くため、日々前進を続けてまいります。